

タピックニュース・あわせ

「脳損傷者への運転再開支援」 の取り組みについて

自動車運転再開班 平山陽介

近年、障害者の運転再開支援について全国的に関心が高まってきています。特に沖縄は車社会であり、自動車運転は生活の質を保つ上で重要な活動だと言えます。当院においても退院後の移動手段や復職を目的とした自動車運転再開を希望する患者様は多くいらっしゃいます。

当院では平成26年に、運転再開を希望する入院中の患者様に対して一定の基準で支援を行う体制を整えるため、運転再開支援班を結成しました。

支援の流れとしては、病状が安定し日常生活がある程度自立してきた時期から、運転に必要な身体や神経心理学検査を行ない、本田技研が開発したドライビングシミュレーターを用いて医学的立場から運転再開についての評価を行います。その後必要があれば近隣の自動車教習所に協力して頂き、実車評価を行います。最終的には公安委員会での臨時適性検査を受け判断してもらいます。その際に、医師が記載した診断書が必要となります。

今後も医療機関で行える支援を明確にし、急性期・回復期・生活期の連携や、自動車教習所や車両改造業者との連携を更に強化していきたいと考えています。そして「個人の権利」と「公共安全」の両方を大切に支援していきたいと思っています。



ドライビングシミュレーターの様子



あわせ訪問看護ステーション開所 のお知らせ

あわせ訪問看護ステーション
大城哲次

平成28年11月1日、沖縄市泡瀬地区にあわせ訪問看護ステーションを開設し訪問看護事業を開始する運びとなりました。開設にあたりご支援、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

人口の少子高齢化が進む中、病気や障害と付き合いながら地域やご自宅で療養生活をなさる方は増加傾向にあり、地域医療、在宅療養の重要性はますます高まっています。利用者様・ご家族様を中心にかかりつけ医療機関や様々な介護サービス事業者との細やかな調整・連携し、安全はもちろんのこと、安心、信頼される訪問看護ステーションを目指していきたいと思っております。

スタッフは看護師3名でのスタートとなります。これまでの病院や施設、訪問看護の経験を活かし在宅支援をさせていただきます。今後、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



あわせ訪問看護ステーション
電話: 989-3815 FAX: 989-3810

沖縄県高次脳機能障害講演会のお知らせ 高次脳デイケア 鈴木里志

平成29年2月11日(土)に、武蔵野大学 人間科学部人間科学科教授(言語聴覚士) 小嶋 知幸 氏を講師にお招きし「やさしくわかる失語症—正しい理解と支援のありかた」をテーマにご講演いただきます。

会場は嘉手納町ロータリープラザ2F嘉手納中央公民館で、講演時間は13時30分～16時30分(13時受付開始)となります。無料でどなたでも参加いただけますので、たくさんの参加をお待ちしております。

お問合せ先
TEL982-1863(担当鈴木)



医療ツーリズムからの報告

医療ツーリズム担当 小嶺千賀子

平成28年10月17日～18日の2日間、医療ツーリズムで中国より18名の過去最大数の受入を行いました。

当院職員、タピックグループのユインチホテル南城、東南植物楽園関係各位ご協力頂き、スムーズな対応が出来ました。今回の受診についてアンケートを実施したところ、皆様「満足」と嬉しいお言葉を頂きました。

